

一般質問 (要旨)

第1回定例会では、2月27日、28日、3月3日の3日間にわたり18人の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



小野寺 克己

自転車の安全と環境整備について

問 ①自転車レーンまたは自転車ナビマークの整備は行われるのか。②今までなかなか啓発できなかった子育て世代の親に対して啓発活動を行っているのか。③T Sマーク付帯保険の助成を行えないか。

答 ①今後整備路線はレーンを視野に入れ検討。②年齢層を意識しての啓発活動は行っていない。③費用面の関係がある。検討を重ねる有機的な手立てを見出す。

ごみ不法投棄対策について

問 ①ごみ拾いを行うことでポイントがつくボランティアポイント制度など今後の検討をお願いしたい。②不法投棄される場所の傾向として、どのように分析されているか。

答 ①行政の各分野の能力を集結させて取り組んでいく必要があると考えている。②ごみについては捨てやすく汚れている所に集まり、管理されていない場所に投棄される傾向がある。



石川 和広

健康情報等を活用したデータヘルス推進について

問 レセプト・健康情報等を活用して保険事業の展開を図るデータヘルスは、予防への意識づけや重症化防止等だけでなく、健康・医療関連情報の「見える化」も進めることができるか。

答 今後において、質の高い保険サービス効果を継続的に提供し、ニーズに応じた保健・介護予防事業を効率的・効果的に実施していくために、データヘルスの推進は必要だと考える。市長はこのような点についてどう考えるか。

昨年3月に策定した「狛江市国民健康保険事業財政健全化計画」に掲げた取り組みをはじめ、あらゆる方策を講じていく必要がある。また、「いつまでも健康でいられるまちづくり」を実現するためには、従来型の検診事業などに加え、市民の実情に沿った事業展開が必要。現在は健康保険組合だけに義務付けられている「データヘルス計画」を含め、多様な情報を活用し、国民健康保険特別会計の健全化に努める。

他に、「地域防災力充実強化法」について質問。



亀井 和 美

地域で支え合い、安心して暮らせる認知症対策について

問 ①認知症サポーターに対する今後の体制づくり②小中学生に対する養成講座の開催③口コモ(運動器症候群)の認知度を高める今後の取り組み④セルフネグレクト(自己放任)に対する今後の取り組み。

答 ①市全体で取り組むべきものと認識。庁内全職員向けの開催も。②各学校にも依頼をしていく。③市民の目や耳に触れることが重要。④見守りネットワークの一環として協力依頼をしていきたい。

命に刻みたい、子ども達への防災教育

問 ①子ども達の命を守る防災教育において、一番力を入れてきた事は。②東日本大震災の教訓を生かすため、どのような取り組みをしているのか。③防災意識の向上について市民への啓発と課題。

答 ①登下校時の対応に重点をおき主体的な判断を育てる。②震災を忘れないための避難訓練や校長講話を行っている。③HP、ブログ、まなび講座、講演会等で啓発を実施。課題は防災に対する行動力が低い。



佐々木 貴史

安全・安心なまちづくりについて

問 ①災害時の発生時間帯によっては中学生が地域の災害弱者の助けとなるが、このあたりの考え方や生徒への指導は。②災害時、第三中学校を帰宅困難者等の受け入れ先とすることにしている見解は。

答 ①災害時に地域のため助けとなるような姿勢・態度が持てるような各学校に依頼。②避難所としての活用だけではなく必要に応じた柔軟な対応も視野に入れる。

狛江市公共施設整備計画と課題について

問 ①整備スケジュールの全体的な進捗状況は。②谷戸橋地区センターの復旧工程は。③公立と私立保育園の負担額の差は。④市民センター改修の考え方は。⑤市民センターを改築した場合の財政負担は。

答 ①遅滞なく整備を進めている。②26年度中に工事完了予定。③園児1人あたり約45万円の差。④限られたスペースの中で部屋の配置等を検討。⑤平成29・30年度に1億円ずつ一般財源から、残りを地方債で賄う。



正木 きよし

狛江市の農業政策 (パート1)

問 ①農業政策の基本的な考え方②農業振興計画、実施計画の今後の取り組み③農業政策の充実についての具体的な取り組みは。

答 ①市民の期待に応える。②狛江市農業の確立。③後期基本計画を踏まえ新たに実施計画策定。④GAP手法で狛江ブランド野菜を確立。

ようにしてほしい。

問 ①図書館の充実、公民館の充実についてどう考えるか②市民の声をどう生かした改修に。市民説明会をもっと丁寧にすべきか。

答 ①図書館は床面積の拡充、公民館は機能の充実を図る。②今後も寄せられた意見・要望等を実施設計で可能なものは反映。



太田 久美子

子どもが安心して過ごせる保育を

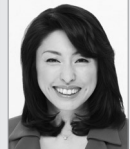
問 ①認証保育所との連携をすべきと思うが、問題、課題があるのか。②多発する午睡中の事故防止対策は。③子どもが安心して過ごせる保育には、悲惨な事故を未然に防ぐ対策をすべきと思うが。

答 ①巡回指導等により、保育環境の向上を図り、研修等への参加も促している。②「乳幼児突然死症候群予防チェック表」を作成し、それに基づきチェックを実施。③情報共有を図り、事故防止に努める。

高齢者が安心して暮らせるまちを

問 ①認知症高齢者の徘徊、行方不明による捜索依頼があった際の連携体制は。②偏見や差別、高齢者へのいたわり、優しさや人間性を養うための認知症理解教育を。③認知症高齢者施策推進の市長の考えは。

答 ①都を通じて近隣自治体と協力して取り組んでいる。②人権課題に配慮し、どの程度の指導が可能かを研究。③大変重要な課題。地域で安心して暮らしていただくための施策を推進する。



辻村 ともこ

修学旅行の契約不備発覚。保護者負担を軽減せよ

問 ①要綱に基づく修学旅行の業者選定における契約方法は。②見積もりはとっているか。③保護者負担は複数業者を入れることで最大1人当たり3600円軽減出来る。可能性は。④全校を指導改善せよ。

答 ①原則として全校書面業者から見積もりをとり、校内にて業者選定会議を行い選定する。②複数の業者から取っているのは約七割のみ。③軽減される可能性は十分ある。④徹底を図る。

自己肯定感のある子供を育てるために領土教育を

問 ①政府も領土教育を推進する方向性を示した教育長の領土教育についての見解は。②領土教育は重要だ。ICT副教材導入を要望する。検討は。③市長の領土教育についての見解は。

答 ①日本人としてのアイデンティティを育むことがグローバルに活躍できる人材育成につながる。②教材・教具として紹介する。③領土を学習した上で、世界へ目を向け他者への思いやる気持ちも学んでほしい。